

与論高等学校の教育目標と重点目標

【教育目標】 憲法、教育基本法の精神にのっとり、「好学の気風」「創造の精神」「親和の態度」「不屈の根性」の校訓のもと、知・徳・体の調和のとれた心身ともに健康で豊かな人間形成をめざし、わが国の文化と伝統を尊重する態度と国家・社会の進展に寄与できる有為な人材を育成する。

【重点目標】 予測が困難な時代を主体的に生き抜く力をもった生徒を育成する。

豊かな人間性

- 豊かな教養とともに、人権に対しても深い認識をもっている。
- わが国や郷土・与論島のもつ良き自然と伝統・文化を愛し尊重することができる。

健康・体力

- 基本的な生活習慣を確立している。
- 体力づくりに努め、自ら健康を管理できる。
- 疾病等への予防・対応の意識をもっている。

資質・能力の育成

何ができるようになるか ○学校教育の基本

- 学ぶことの意義を理解し、未知の状況の中で、正解のない問いに対しても、よりよい解決策を見出すために、多様な人々と協働しながら、粘り強く取り組むことができる。

何が身に付いたか ○学習評価を通じた学習指導の改善

- 目標に適した単元テストの実施（妥当性）
- 単元毎の評価に基づく補充指導の充実と授業改善（「指導と評価の一体化」の具現化）
- 評価結果の生徒による理解と活用

生徒の実態

- 純朴・素朴・素直
- 離島のため情報や刺激が少ない。
- 学習意欲が低い生徒、学習習慣が身に付いていない生徒が少なくない。

生徒の発達をどのように支援するか ○配慮を必要とする生徒への指導

- 居場所としてのホームルームづくりの推進
- 職員間の情報共有とチームによる生徒支援
- スクールカウンセラーと連携した教育相談の実施による生徒・保護者支援

目指す生徒の姿

- 自ら学ぶ意欲と社会の変化への適応力をもつたくましい生徒
- 豊かな教養とともに、人権に対しても深い認識をもつ生徒
- わが国や郷土・与論島のもつ良き自然と伝統・文化を愛し尊重する、心豊かな生徒

何を学ぶか ○教育課程の編成

- 学習の基盤となる「言語能力」の重視
- 持続可能な社会をつくる力の重視（海洋教育）
- 各教科等で育成する資質・能力の明確化
- 生徒の実態を踏まえた授業デザインの充実

どのように学ぶか ○教育課程の実施

- 単元シラバスに基づく主体的な学び
- 教科等における探究的な学び
- 地域と連携した協働的な学び
- 個に応じた学び

実施するために何が必要か ○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- 授業改善と学習評価の工夫・改善
- 教職員の専門性を高める研修機会の充実
- ICTの積極的活用
- 教育資源の活用と開発（海洋教育／キャリア教育）
- 外部講師による講演等の充実
- 学校評価の活用と充実

安心・安全を守る

- いじめ・体罰の根絶
- 危機管理（防火・防災等）の徹底と意識の醸成
- 幼・小・中学校と連携した保健指導の充実
- 教育相談の充実

開かれた学校づくり

- 広報活動の充実（学校ホームページの充実／学校広報紙『みちしるべ』の発行／『校長通信』の発行）
- 地域機関との連携・地域行事への参加